

岩手県感染症月報

平成29年2月

岩手県感染症情報センター

平成29年2月の概要

○性感染症

- ・男性の淋菌感染症が増加しました。
- ・女性の性器クラミジア感染症が増加しました。
- ・県内の各保健所において、性器クラミジア病原体検査を無料で実施しています。希望される方は保健所にお問い合わせください。

○薬剤耐性菌感染症

- ・メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が減少しました。

性感染症・薬剤耐性菌感染症（過去5ヶ月間の動き）

※薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から5類感染症の全数報告となりました。（定点当たり患者数）

疾病名	地域	月					流行傾向	
		10	11	12	1	2		
性感染症	性器クラミジア感染症	岩手県	1.33	1.93	1.67	1.27	1.53	↗
		全国	2.12	1.99	1.96	1.88	1.89	
	性器ヘルペスウイルス感染症	岩手県	0.47	0.13	0.4	0.2	0	→
		全国	0.76	0.74	0.77	0.78	0.74	
尖圭コンジローマ	岩手県	0.47	0.33	0	0.47	0.33	→	
	全国	0.48	0.46	0.42	0.44	0.39		
淋菌感染症	岩手県	0.47	0.33	0.47	0.6	0.87	↗	
	全国	0.73	0.67	0.62	0.68	0.64		
薬剤耐性菌感染症	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	岩手県	2.05	1.63	1.68	2.42	1.58	↘
		全国	2.89	2.8	2.77	2.91	2.68	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	岩手県	0.79	0.74	0.58	0.37	0.42	→
		全国	0.31	0.33	0.35	0.34	0.34	
薬剤耐性緑膿菌感染症	岩手県	0.05	0	0	0.11	0	→	
	全国	0.03	0.02	0.04	0.02	0.03		

（男性）

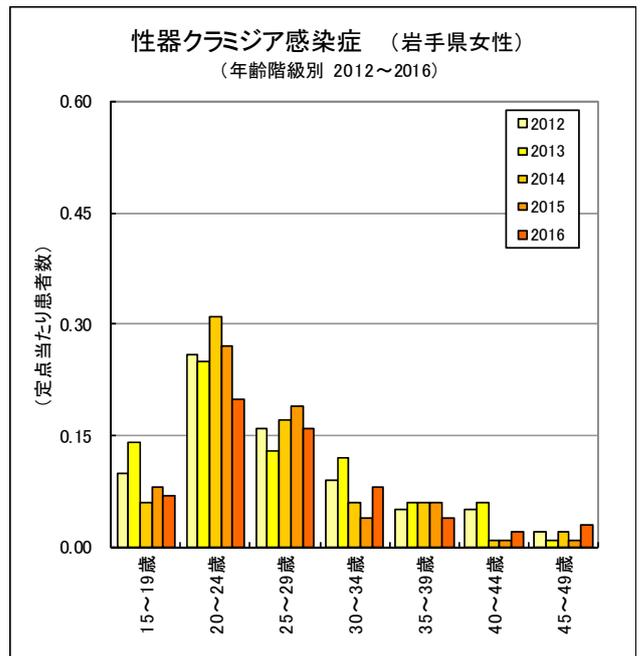
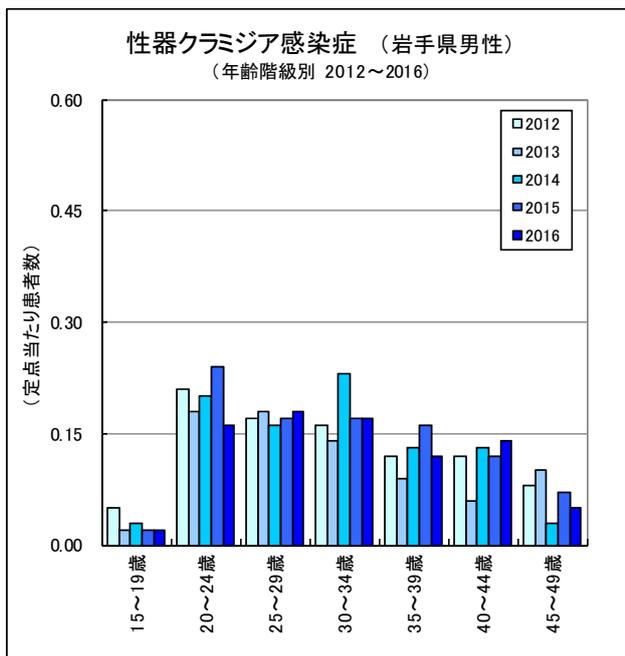
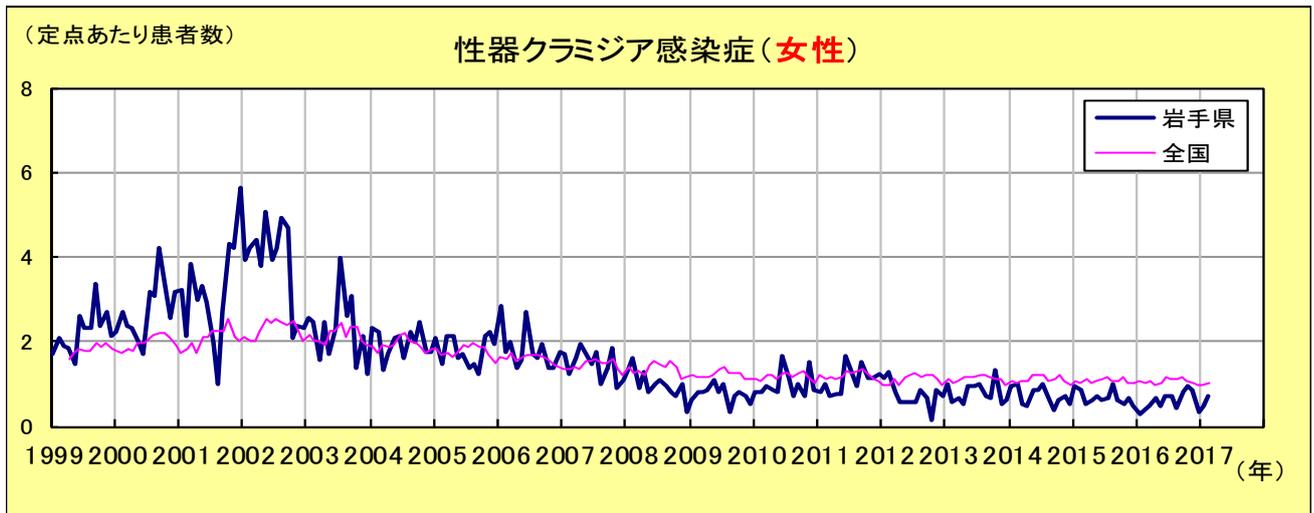
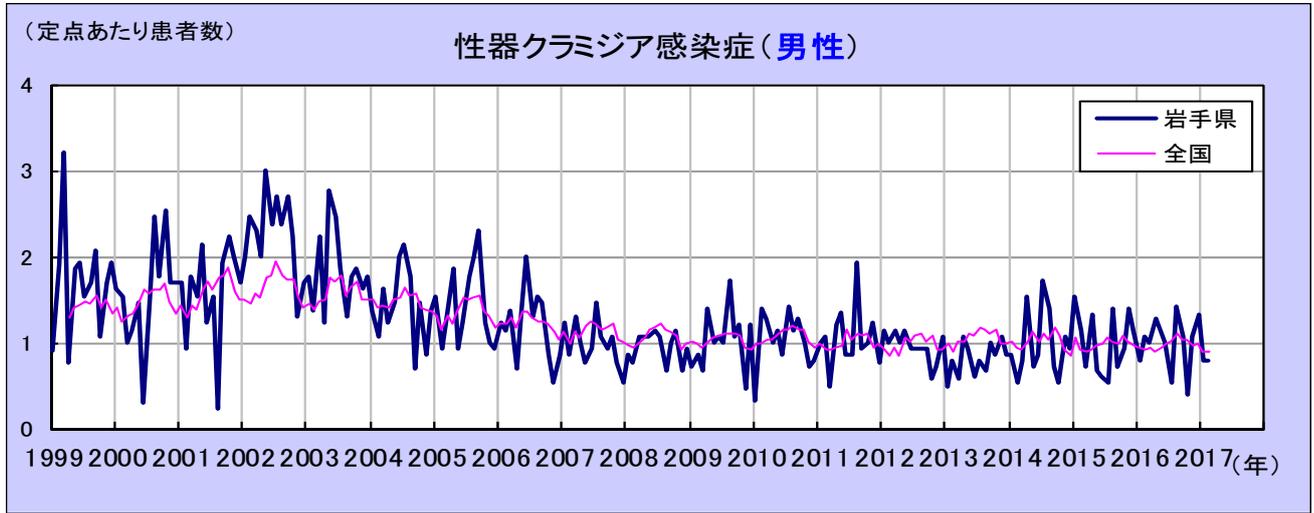
疾病名	地域	月					流行傾向	
		10	11	12	1	2		
性感染症	性器クラミジア感染症	岩手県	0.4	1.07	1.33	0.8	0.8	→
		全国	1.04	0.96	0.98	0.9	0.89	
	性器ヘルペスウイルス感染症	岩手県	0.27	0.07	0.07	0.2	0	→
		全国	0.31	0.32	0.31	0.32	0.3	
尖圭コンジローマ	岩手県	0.13	0.13	0	0.33	0.2	→	
	全国	0.29	0.28	0.26	0.28	0.22		
淋菌感染症	岩手県	0.47	0.2	0.4	0.47	0.67	↗	
	全国	0.61	0.53	0.49	0.55	0.51		

（女性）

疾病名	地域	月					流行傾向	
		10	11	12	1	2		
性感染症	性器クラミジア感染症	岩手県	0.93	0.87	0.33	0.47	0.73	↗
		全国	1.08	1.02	0.98	0.97	1	
	性器ヘルペスウイルス感染症	岩手県	0.2	0.07	0.33	0	0	→
		全国	0.46	0.42	0.46	0.46	0.44	
尖圭コンジローマ	岩手県	0.33	0.2	0	0.13	0.13	→	
	全国	0.19	0.18	0.16	0.16	0.17		
淋菌感染症	岩手県	0	0.13	0.07	0.13	0.2	→	
	全国	0.12	0.15	0.13	0.13	0.13		

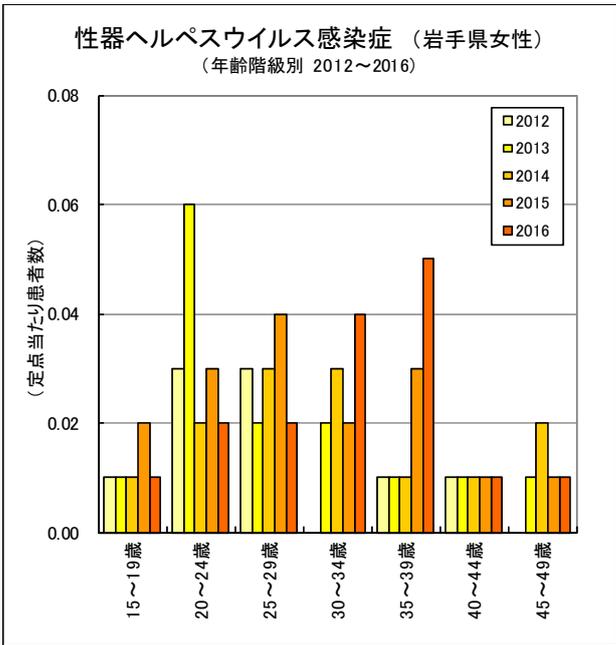
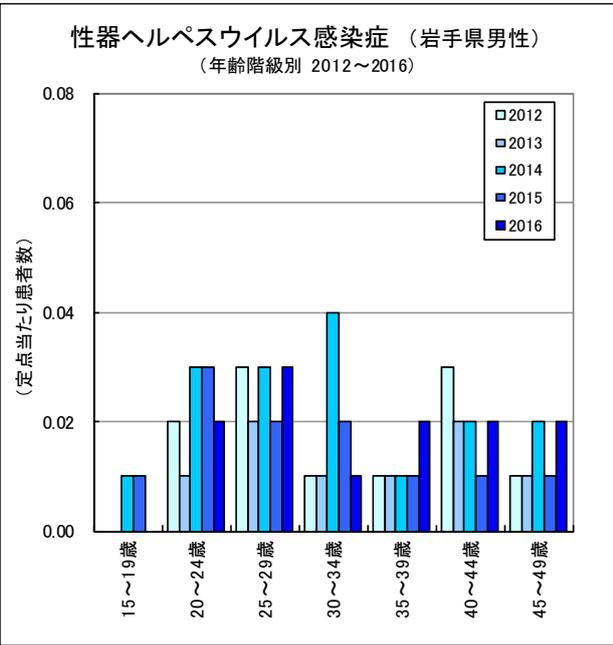
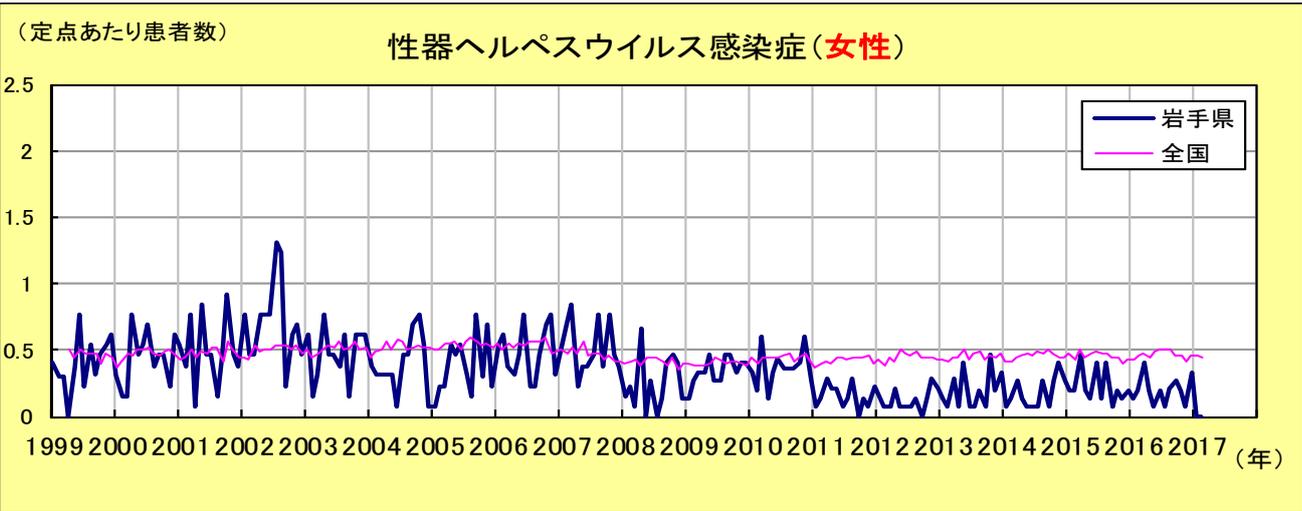
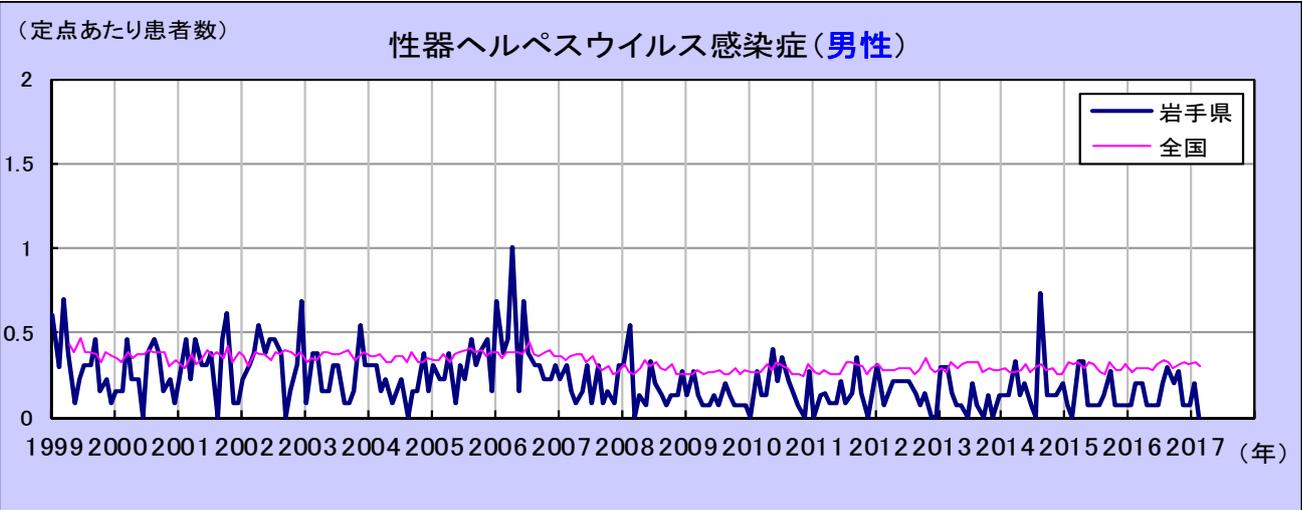
性器クラミジア感染症

男性では20～39歳で、女性では20～29歳で多く報告されています。男性は横ばいの状況が続いています。女性は全体的に減少傾向にあります。2016年は、30～34歳の報告数が増加しています。



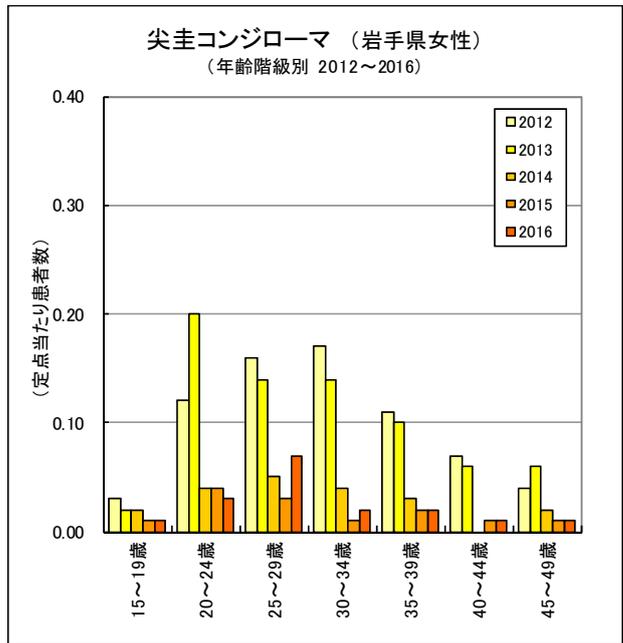
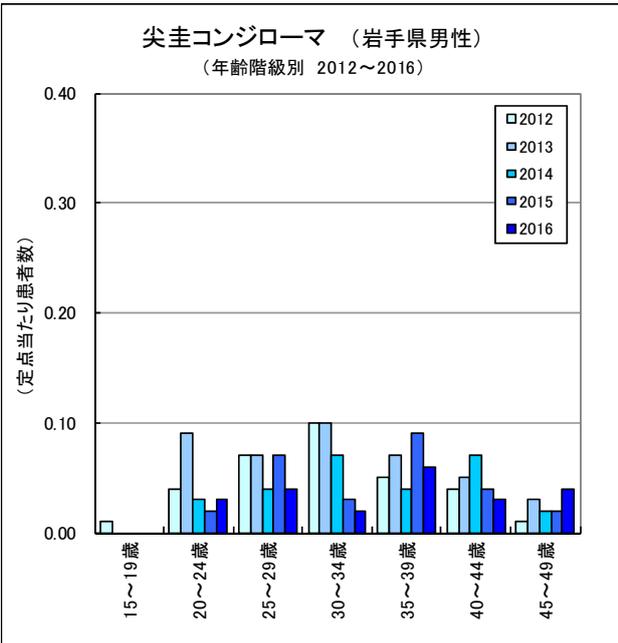
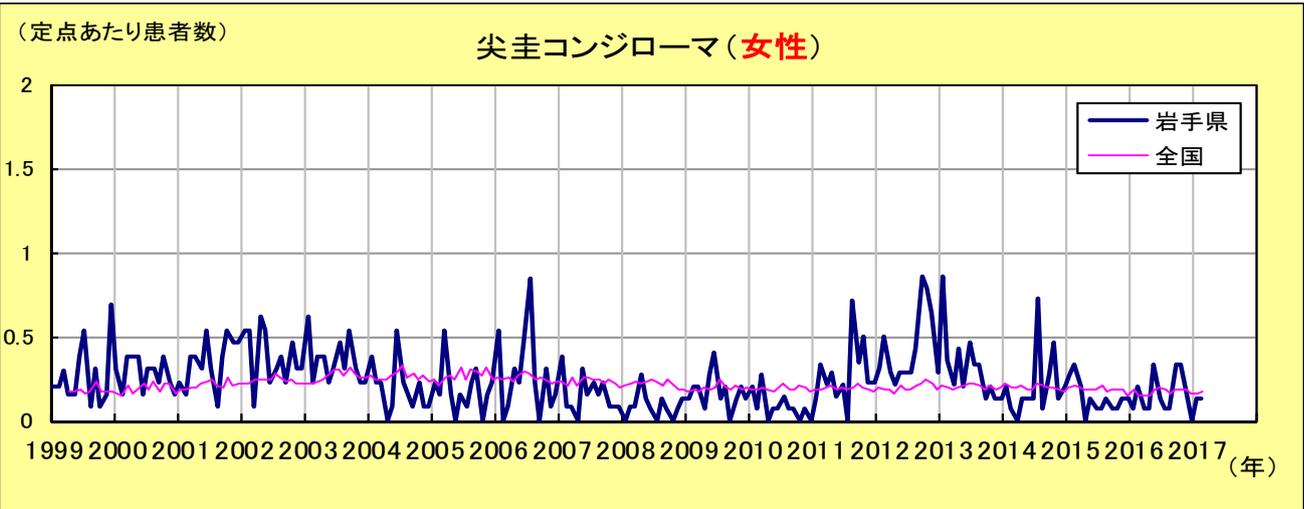
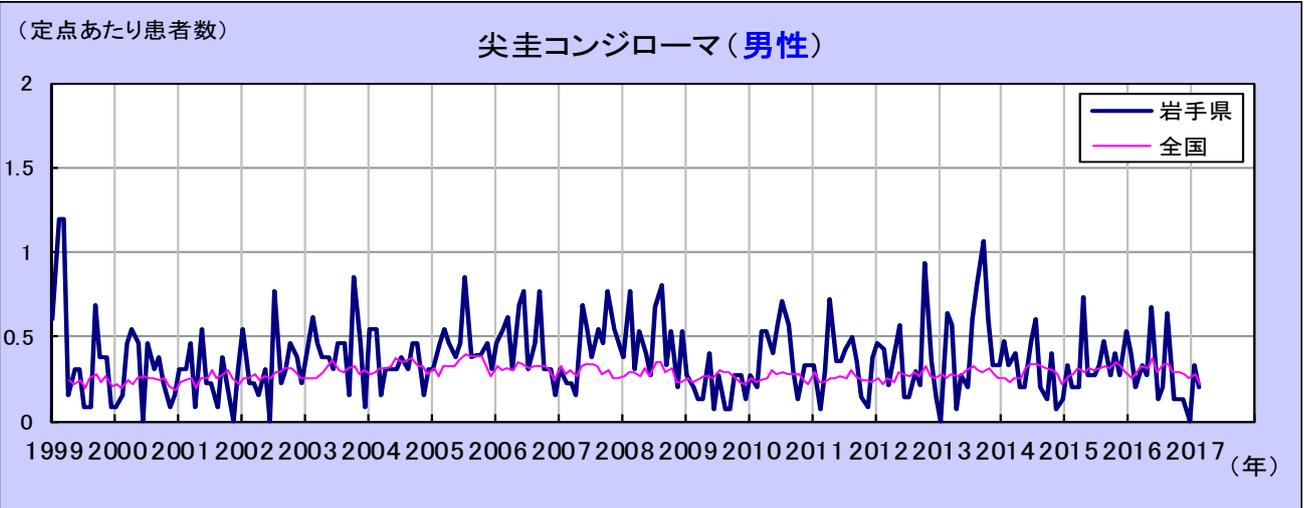
性器ヘルペスウイルス感染症

男性では20～29歳で、女性では20～39歳で多く報告されています。男性は、横ばいの状況が続いており、女性は、2013年に20～24歳の報告数が多くなりましたが、2014年以降横ばいとなっております。女性の30～39歳は、報告数は増加傾向にあり、2016年も増加しました。



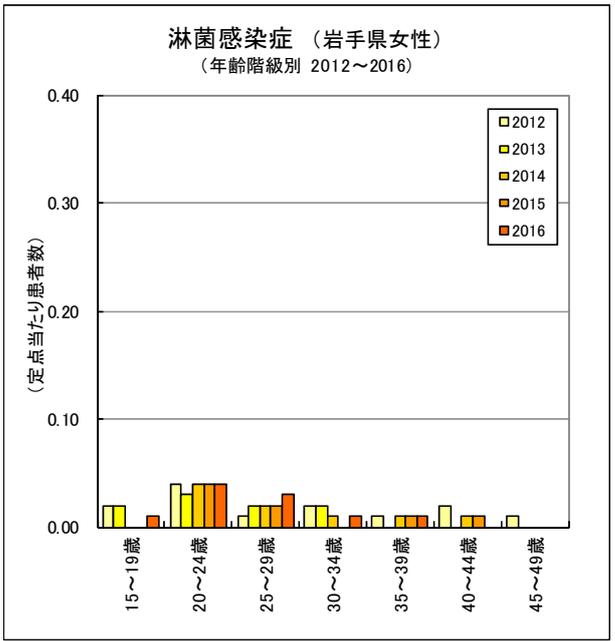
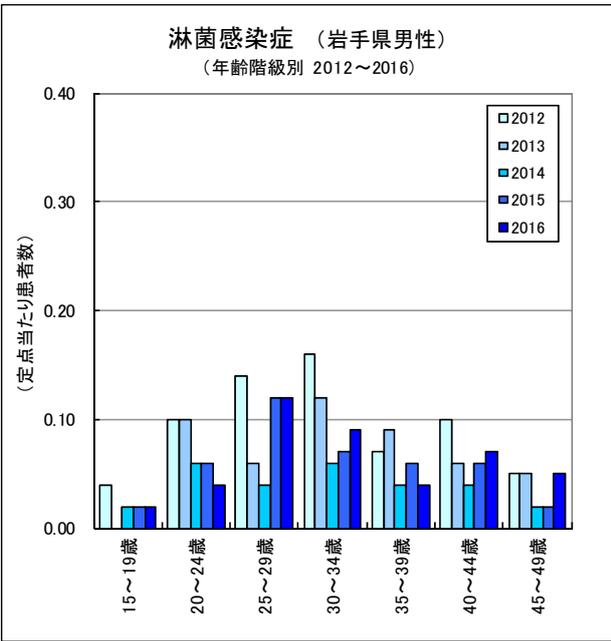
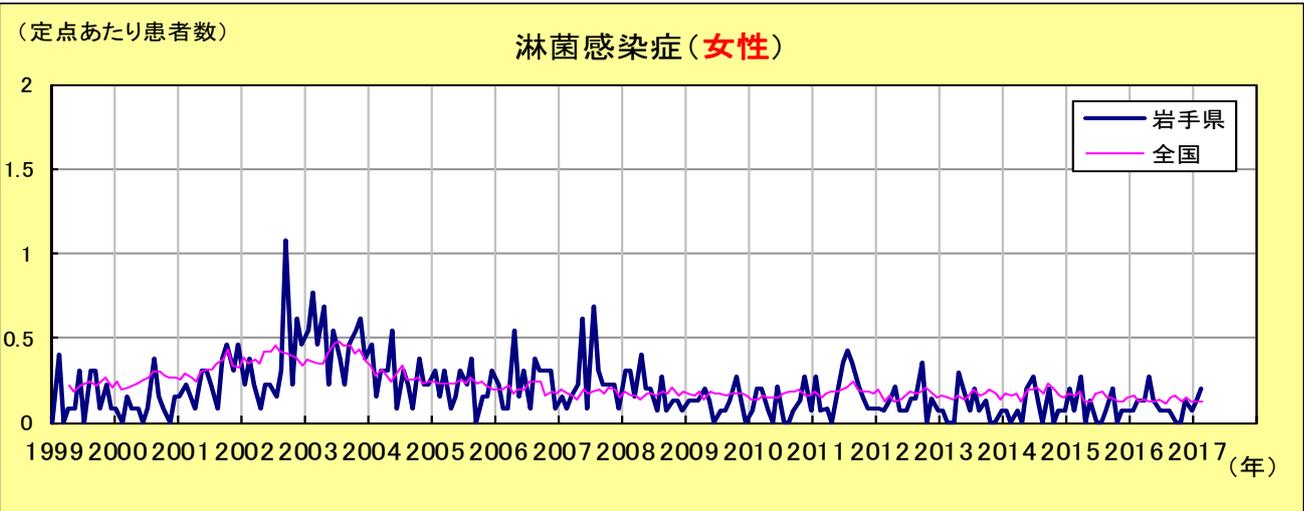
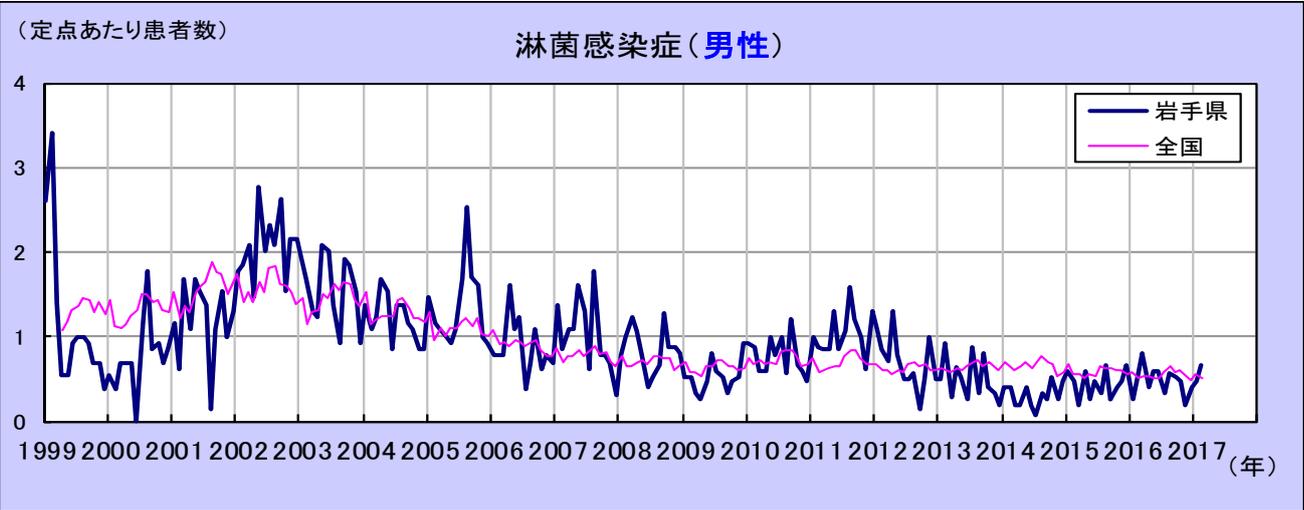
尖圭コンジローマ

2012～2013年は、女性が男性より多く報告されておりましたが、2014年にはすべての年齢層で女性の報告数が減少し、男性より少なくなりました。2014年以降、男女とも減少傾向にあります。2016年は、25～29歳女性、20～24歳男性および45～49歳男性が増加しました。

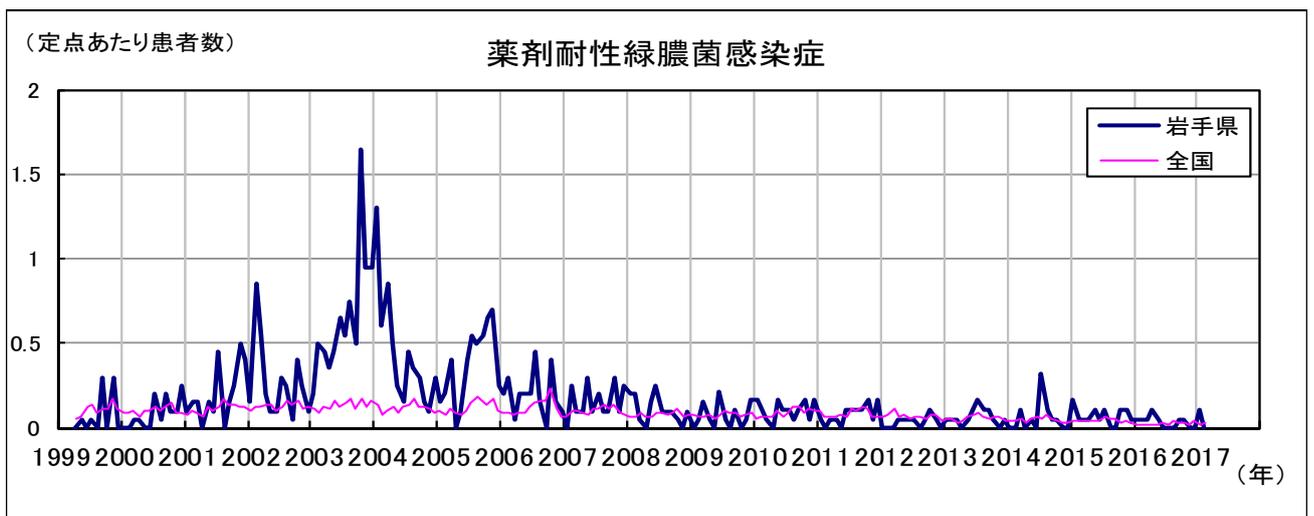
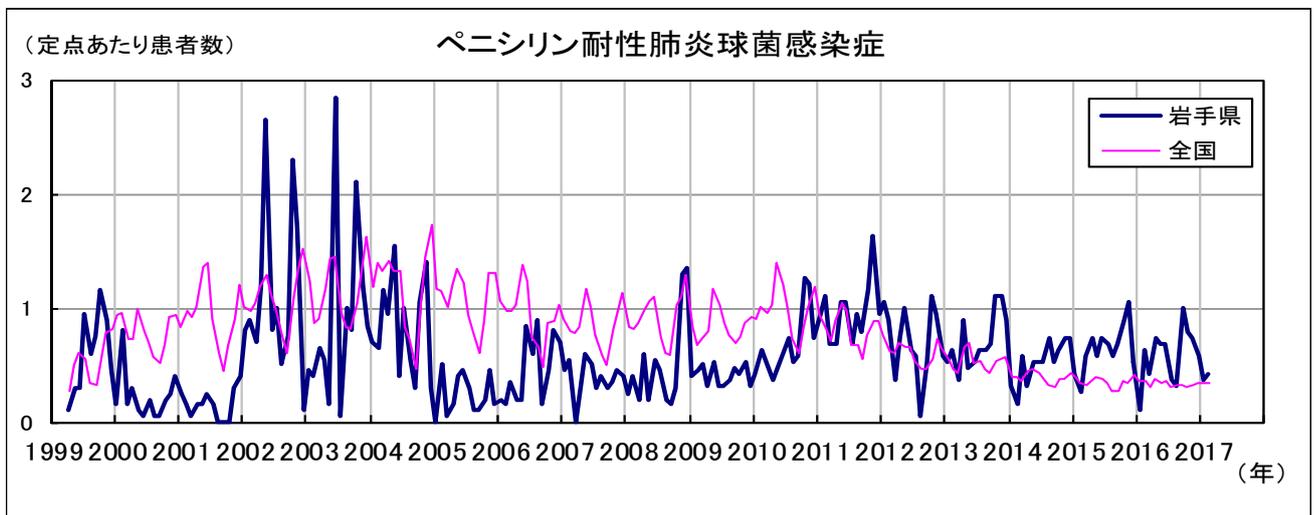
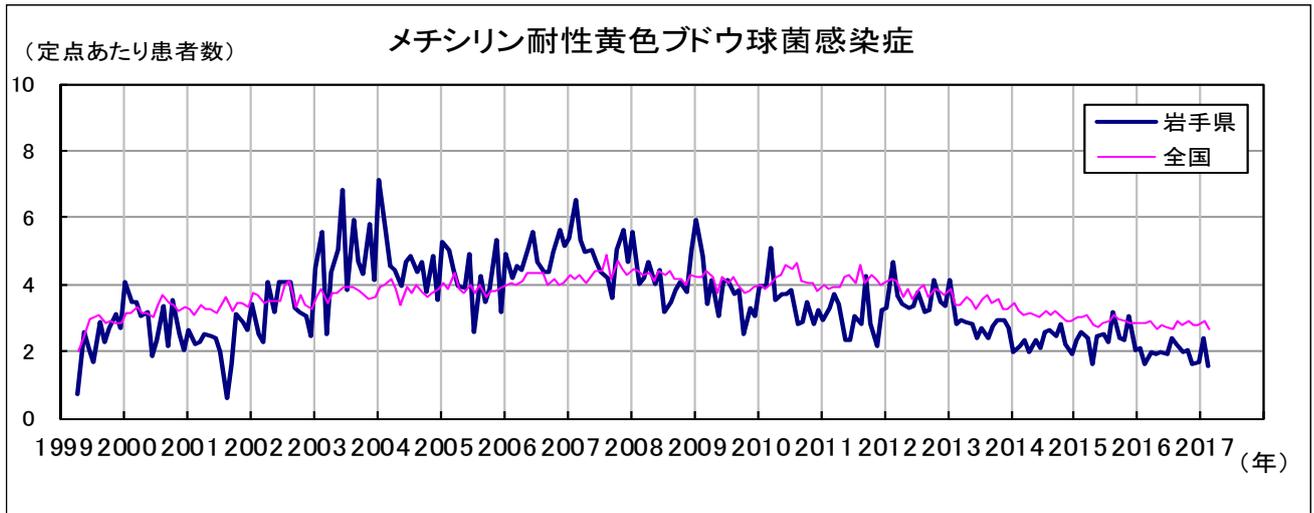


淋菌感染症

男性の報告数は全体的に女性より多く、特に25～34歳で多く報告されています。すべての年齢層で2014まで減少傾向にありましたが、2015年は増加もしくは横ばいに転じ、さらに2016年は、30～34歳、40～49歳の報告数が増加しました。女性は20～29歳で報告数が多くなっています。



薬剤耐性菌感染症



病原体検出情報

平成28年10月から平成29年3月まで、県内の病原体定点医療機関等で採取した検体から岩手県環境保健研究センターで分離検出した病原体は下表のとおりです。

月別病原体検出状況

検査結果	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ライノウイルス	10	3	-	-	-	-	13
インフルエンザAウイルス(H3N2亜型)	1	14	33	27	15	-	90
インフルエンザBウイルス(ビクトリア系統)	-	-	-	1	-	-	1
パラインフルエンザ1型	1	-	-	-	-	-	1
パラインフルエンザ4型	1	-	-	-	-	-	1
RSウイルス	7	3	6	-	-	-	16
ヒトメタニューモウイルス	1	-	1	-	-	-	2
ムンプスウイルス	-	2	-	1	-	-	3
A群ロタウイルス	1	-	-	-	-	-	1
サポウイルス	-	-	1	-	-	-	1
ノロウイルス遺伝子群II	1	-	5	-	-	-	6
アデノウイルス1型	-	-	1	-	-	-	1
アデノウイルス2型	2	-	2	-	-	-	4
アデノウイルス3型	-	3	1	-	-	-	4
単純ヘルペスウイルス	-	-	1	1	-	-	2
ヒトヘルペスウイルス7型	1	-	-	1	-	-	2
パルボウイルスB19	-	-	1	-	-	-	1
溶血性レンサ球菌	-	-	2	-	3	-	5
百日咳菌	-	-	-	-	-	2	2
	26	25	54	31	18	2	156

疾病別病原体検出状況

疾病名	検出病原体	検出数
インフルエンザ	インフルエンザAウイルス(H3N2亜型)	88
	インフルエンザBウイルス(ビクトリア系統)	1
咽頭結膜熱	アデノウイルス3型	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	5
感染性胃腸炎	アデノウイルス1型	1
	アデノウイルス2型	1
	A群ロタウイルス	1
	サポウイルス	1
	ノロウイルス遺伝子群II	6
手足口病	ライノウイルス	1
伝染性紅斑	パルボウイルスB19	1
流行性耳下腺炎	ムンプスウイルス	1
流行性角結膜炎	単純ヘルペスウイルス	1
無菌性髄膜炎	ムンプスウイルス	2
RSウイルス感染症	RSウイルス	4
その他	ライノウイルス	12
	インフルエンザAウイルス(H3N2亜型)	2
	パラインフルエンザ1型	1
	パラインフルエンザ4型	1
	RSウイルス	12
	ヒトメタニューモウイルス	2
	アデノウイルス2型	3
	アデノウイルス3型	2
	単純ヘルペスウイルス	1
	ヒトヘルペスウイルス7型	2
	百日咳菌	2

結核発生動向

結核の発生動向の詳細は、岩手県感染症情報センターのホームページをご覧ください。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/index.html>

無料です!!

岩手の感染症情報をメールで毎週お届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」

を配信しています

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症月報 平成29年2月

平成29年3月31日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail：CC0019@pref.iwate.jp

URL：http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/